



市が洞小学校区
地域共生ステーション
づくりワークショップ

第3回の報告です！
わたしたちのまちの居場所を考えよう！

通信 03



全4回プログラム

(場所 | 旧長湫南部土地区画整理組合事務所)

第1回 (2/21 (日) 9:30 ~ 11:30)
何のための地域共生ステーション??
～市民主体の多世代居場所づくりとは～

第2回 (3/13 (日) 9:30 ~ 11:30)
こんな地域共生ステーション、つくりたいナ!
～使い方イメージと設計の前提条件を考える～

★第3回 (3/27 (日) 9:30 ~ 11:30)
色々な設計案を吟味しよう!
～自分たちが使いやすい空間を考える～

第4回 (4/17 (日) 9:30 ~ 11:30)
設計案のまとめと運営のあり方
～自分たちで、自分たちの居場所を運営するには～

地域共生ステーションとは、地域で気軽に集い、語り、地域の様々な課題に対する取組を行うための拠点となる「場」です。小学校区単位の組織であるまちづくり協議会による地域運営をめざしています。

3月27日には、市が洞小学校区の地域共生ステーションを皆さんで考えつづいていくためのワークショップの第3回が行われました。(全4回)約30名程の多世代の方が集まりました。今回はその様子をお届けします。

● 自分たちが使いやすい空間は？

今回は、はじめに設計者の山田さんから4つの設計案の説明がありました。今までの議論がどう空間にいかされているか確認しました。

その後、グループワークと全体議論で空間のよい所や使いにくい点などを確認しました。次の最終回に向けて、多くの人が選んだ案を基調にしつつ、其々の案の良い所を取り入れ、共感の得られる基本設計にしていくことになります。



山田基弘さん(株浦野設計)

色々な設計案を吟味しよう！～自分たちが使いやすい空間を考える～

これまでみなさんで検討してきた使い方イメージや設計の前提条件を元にした4つの設計案が浦野設計から提案されました。グループワークでは4つの案の「良い点」「嫌な点」を話し合ったり、全体としての機能のおさまりや動線を見比べたりしました。ここでは基本設計をする上で大切に、主だった意見をまとめています。



それぞれの案のどのような特徴が良い？



【旗揚げアンケート】

- 案1 : 10票
- 案2 : 9票
- 案1+3 : 8票
- 案1+2 : 2票
- 案3 : 1票
- 案4 : 0票

施設全体としてどの案がいいか全体の意見分布は？



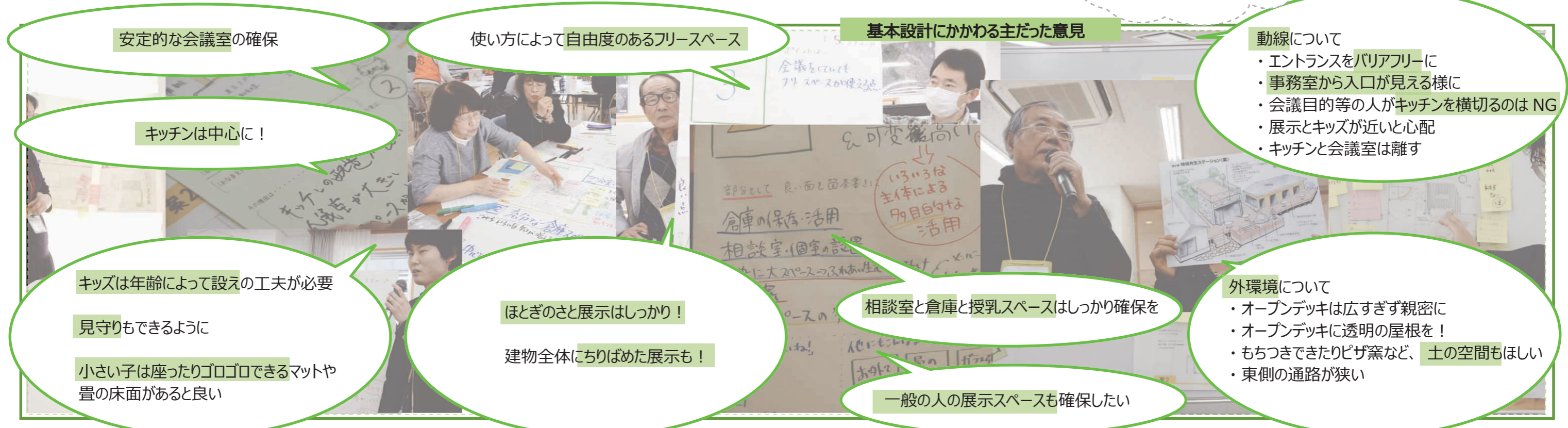
- × キッズスペースが分離されていることが不安。もっと開放的に！
- × 会議室が小さい

× オープンデッキが広すぎる

× 展示スペースの位置が良くない

全体計画として案4を選ぶグループはありませんでした

× 動線を考えるとキッチンの位置が悪い



おなじみ！ 延藤せんせいのおなじみ！ 延藤せんせいの頭顔要約法によるまとめ



最後に、延藤安弘さん(NPO 法人まちの縁側育くみ隊代表理事)がこれからに向けて、今回出てきたつづやきをその場でまとめ、ふりかえりました。

- う** うまい全体バランスを左右するのはフリースペースの可変性と中央性、
- ま** オープンデッキとのつながり
- と** 互助性や見守り合えるためにフリースペース・会議スペース
- き** ・キッズスペースの統合の配慮
- と** キッズスペースとしてオヤジのかくれ家として倉庫は良い、親との分離、光、
- と** 管理の不安をこえられるか？
- と** 特別な地域文化表現の場として、ほとぎのさとと一般展示は専用空間と
- と** 小さくちらす展示を組み合わせよう
- せ** 狭さを補いあえるつながりのしなやかさを多重に
- き** -外から使えるオープンキッチン・ピザ窯・デッキ
- に** 基本的に空間設計だけでなく、活用と運用の知恵を空間設計に！
- を** -キッチンと会議室を離す等
- を** 人気スペースだけでなく、相談室、倉庫、事務室は全体見渡しの位置に
- を** 奥の倉庫や小屋裏空間など、個性的空間を！

→(頭文字を結ぶと…)

うごきとせきにんを — みなさんの議論で明らかとなった空間の良い面を活かし、共感できる基本設計を目指しましょう。公設民営の施設として、地域による管理運営の在り方についても今後深めましょう。

【アンケートより】

1) 本日の回について

- ・ 地域の人々が各々集って利用する姿はイメージで来た。
- ・ 前回までの意見が反映されたプランが出ていてそのプランをもとにより具体的な話し合いができた。

2) グループワークについて

- ・ 設計図の差をファシリテーターの方が再度説明があったり、ポイントを教えてもらえてグループワークがしやすかった。
- ・ 4案の中で一つ選ぶのは難しく統合した良いところ取りと改善を進言していた。
- ・ 動線と機能について現実味が出てきた。
- ・ ガラス張りなどでオープンな空間が良い。
- ・ ピザ釜・BBQ など面白いと思った。
- ・ 会議室とフリースペースの整合が問題。

3) 全体発表について

- ・ オープンデッキの活用等、室内外一体として利用できる空間創生すること。調整池は親水空間として利用可能だろうか。
- ・ 運営・管理の問題・公設民営を再考させられた。
- ・ それぞれの案でいいところを吸収すればいい。
- ・ グループによって切り取り方が全然違うのが新鮮。発見。

4) その他

- ・ 年代別にも地域別にもグループわけに考慮できると広い地区なので親しくなれると思う。
- ・ 本当に大変なのは管理運営。
- ・ 関係性づくりをしないと結局進んでいかない。
- ・ 通信までできてすばらしいですね。ぜひ回覧板にして各家庭にまわしていただけるとうれしいです。会へ来れないけど、意見・思いのある人は多い。遠くの人にも集まりにいてみたいと思うようなところになってほしい。

『「市が洞地域共生ステーションづくりワークショップ」通信 No.03』

発行日：2016年4月15日

作成：NPO 法人 まちの縁側育くみ隊

問合せ：長久手市暮らし文化部たつせがある課 (TEL: 0561-56-0602 (直通))